

第 24 回眼科分子生物学会

令和 2 年 1 月 25 日、26 日にホテル京阪ユニバーサルタワーにて第 24 回眼科分子生物学会が、大阪大学医学部眼科学教室主催のもと行われました。

会長（当番世話人）を辻川教授が担当され、辻川研究室としてもスタッフとして参加を致しました。

以下に、辻川研 M1 の降幡将伍さんの参加記を記します。

参加記

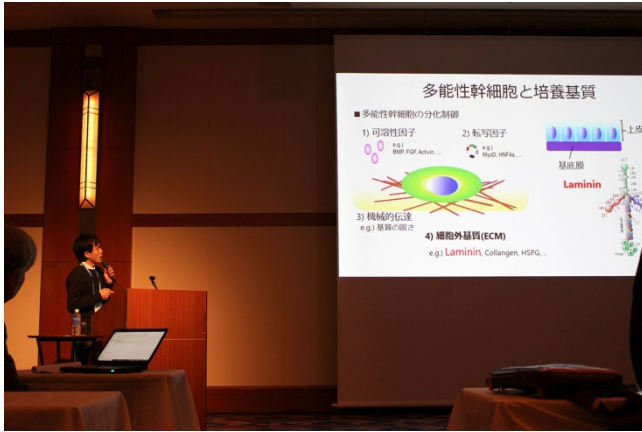
1 月 25 日 26 日の二日間、私にとって初めての学会に参加しました。全国から眼科の研究者が一同に集まり、緊張感があるなか、明快なプレゼンテーション、活発な質疑応答が行われました。内容は、正直今の時点では理解できないものがほとんどでしたが、いつかこのような舞台で、発表ができるように精進しなければならないと感じました。大阪大学からは、永原先生と柴田先生が発表をされました。柴田先生は全体で 3 位の成績をおさめられ、大阪大学の学生として大変誇りに思いました。個人的に印象に残ったのが、竹田先生の特別講演(腸内細菌と疾患の関わり)です。この講演を聞いて、腸内細菌の研究が進めば、がんなどの疾患が発症してから治療するのではなく、予防医療によって発症を防ぐようになるのではないかと思います。スタッフとしてですが、このような素晴らしい学会に参加させてくれ、またタピオカをご馳走してくれた辻川教授には感謝申し上げます。



特別講演 竹田潔先生（大阪大学 免疫フロンティアセンター・医学系研究科）
腸内細菌と疾患の関わり



永原由紀子先生（大阪大学） *tacstd2* ノックアウトマウスの解析



柴田俊先生（大阪大学） iPS 細胞の異なる眼系譜への選択的ラミニン指向性分化
三位入賞おめでとうございます！



最後に辻川研究室集合写真です。タピオカご馳走でした！